

「学校教育でのICT導入の必要性は」

【各教科の特質に応じて活用を図る】

古川誠議員



会で協議中。持ち帰りの学習のための新しいルートの作成。子ども・保護者両方に周知を行つて必要があると考える。

ICTの導入でいるのが、一人ひとりに個別最適化された学習提供が可能になるということだが。

ルは。町教育委員会でルールを作成し、各学校に配付している。子ども達の反応は。前向きに取り組んでいる様子がうかがえている。

問 複合化・複雑化の問題に的確に対応するため、課をまたいだチムを作る考えは。携、それから情報共有をしながら解決し加した。

ていくことが非常に重要なことだと考える。

問 学校に行けなくなることは、どの子にもいつでも起こり得ること。将来のある子どもたちの可能性を伸ばすため、多くの学びの選択肢をつくり支援していただきたい。

◆子どもたちの多様な学びについて

問 高鍋町の不登校の現状は。

令和2年度は31人で年々増加傾向にある。

◆新型コロナウイルス感染症について

問 町長は、今回のコロナ禍から何を学ばれたのか伺う。

◆小中一貫校について

問 小中一貫校について伺う。

問 私が一番期待しているのが、一人ひとりに個別最適化された学習提供が可能になるということだが。

問 教育支援ツールとしてロイロノートというものを導入している。教師側から児童に資料を送ったり、児童・生徒の考え方を収録したり、双方向でのやりとりが可能となっている。

問 居場所があることで、不登校だけではなくいろんな悩みを抱えている児童・生徒が救われることもあるのではないか。フリースクールであるかどうかを問わず、子どもたちの居場所

◆新田原基地問題について

問 町長は、危機管理の重要性を認識し、突然の危機に対して何ができるか、どう支援すべきかの対応力や経済対策、生活支援、医療や学校等の素早い体制づくり、判断力、実行力、情報発信力の重要性を学び、また人と人とのつながりの大切さ、どれだけ多くの皆

◆ヤンバルトサカヤスデ蔓延防止対策について

問 年に2回道路愛護週間が設けられているが、その時に薬剤散布も同時にを行うことについて伺う。

問 マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付サービスについて伺う。

◆証明書のコンビニ交付について

問 マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付サービスについて伺う。</p